

# ぜんちふれん

いま、ががやいて活動している  
女性たち  
ぐっとアップ!

2021  
11  
NO.543

編集・発行 全国地域婦人団体連絡協議会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14  
電話 03-3407-4303(代) <http://www.chifuren.gr.jp>  
共催全国婦人会館



一般財団法人  
**全国婦人会館**

渋谷駅から徒歩5分  
**レンタル会議室**

全国婦人会館2階  
広さ90m<sup>2</sup> スクール形式約60名可  
お問合せとお申込み  
**Tel. 03-3407-4301**  
(平日午前9時~午後5時)

食品ロス削減国民運動のロゴマーク  
**「3すのん」**

NO-FOODLOSS PROJECT  
私達はこの運動を推進します!

らくらくコミュニティに  
**「ぜんちふれん」**  
公式アカウントオープン!

**アースエコ**

プラスチック資源の削減、リサイクルの促進で  
CO<sub>2</sub>排出を減らし、地球環境保全に努めます。



佐藤首相に返還要求の200万人署名を提出する全地婦連 山高会長ら  
(昭和43年6月24日 首相官邸)

日本において結核は  
古くから国民病・亡國  
病とまで言われるほど  
猛威をふるつてきました。  
**結核予防を  
女性の手で**

昭和36(1961)年の沖縄県婦人  
連合会の加盟によって沖縄と連携して  
開けて47年、佐藤・ニクソン会談で沖  
縄の返還は5月15日と決まった。しかし  
沖縄は通貨への不安、物価の値上がり、  
青少年問題、福祉対策などあまりにも多くの難問を抱えていた。全地婦連では  
1月9日、那覇市の婦人会館で沖縄問題婦  
人集会を開いて、沖縄を本土並みに持つてい  
く責任が本土にはあると訴え、決して沖縄を  
一人にせず、みんなで手をつないで解決の道  
を探していくことを確認した。



「複十字シール募金」は結核や肺がんなどの胸の病気の予防啓発、対策支援、調査研究等に活用されている

私たちの団体は2022年に創立70周年を迎えます。  
先達がどのような想いで立ち上げた団体なのか  
振り返ってその意志を再認識しましょう。

## 70年前の日本女性たち 第三回

### 沖縄返還運動

昭和46年6月17日、ワシントンにおける返還協定の調印によって沖縄の復帰は本決まりとなつたが、沖縄では生活苦から自らの体を売っている女性が2万人近くもいると言われ、福祉施設も皆無に近い状態であり、8月18日にはこうした沖縄の女性の悩みを本土に訴える中央集会も開かれた。

昭和46年6月17日、ワシントンにおける返還協定の調印によって沖縄の復帰は本決まりとなつたが、沖縄では生活苦から自らの体を売っている女性が2万人近くもいると言われ、福祉施設も皆無に近い状態であり、8月18日にはこうした沖縄の女性の悩みを本土に訴える中央集会も開かれた。

昭和20年の終戦時、焦土化した日本国土を蘇らせる原動力の先頭に立つのは女性です。父や兄弟、息子など働き盛りの男たちを戦争で奪われ、残ったお年寄りと子どもたちを背負って、唯一働ける女性たちが慣れない仕事をしてやつとの思いで食料を得ていました。そのころ私は幼少期を迎えていましたが、本当に着るものも、食べるものも無い時代でした。おそらく全国の女性団体の会員の皆様は同時期かその後に生まれて今を生きているでしょう。いわば女性団体の歴史とともに成長してきたと言つても過言ではありません。

昭和25年7月に長野県内の国

立療養所に結核患者を慰問された際に、長野市連合婦人会幹部らを結核予防活動に尽力するよう励まされたこと

がきっかけとなり、長野市結核予防婦人委員会が結成された。この動きが全国に広まる一方、結核予防会では「結核予防は主婦の手で」をスローガンに掲げ、家庭婦人を対象にした結核の教育や広報活動の強化に努めた。そうした動きもあって全国各地で女性団体は結核予防会と連携して衛生行政に協力し、なかでも結核予防についての啓発活動、検診奨励、複十字シール運動(募金)など、行政の力が及ばない分野で、きめ細かく熱心に活動を続けてきた。

高度成長期を迎えた日本人は、堅実さ、手先の器用さを活かしておもちゃを開発し、外

国、特にアメリカに対し大々的に輸出を開始しました。それが大ヒットしたため栃木県に「おもちゃのまち」と命名された玩具団地が誕生したほどです。次に洗濯機、冷蔵庫などを白物家電を輸出し、後の自動車輸出へと続きます。15年ほど前でしようか、通産省の事務次官の方がアメリカで講演した話を伺いました。彼は「いずれ自動車は水で走るようになる」と断言していました。その頃から今の

水素エンジンを考えていたのです。常に先を見据え、変化し続けていくことができる人材こそが、物質資源を超えて余りある日本の最も素晴らしい資源です。

さて、私たち女性団体も時代に合わせて変わり続けなければなりません。そのためには必要なことは、若いメンバーを増やすこと、新しい意見を聞くこと、そして活動に取り入れることです。変化し続ける時代と共に生きて、より良い日本を作っていくましょう!



全地婦連会長 櫻井 よう子

変化し続ける時代を生きる

(1面の続きへ)

また、昭和24年以来毎年開催される「結核予防全国大会」に各地の女性団体をメインに毎回千名ほどで参加し、開催地の都道府県民をはじめ全国民の結核予防に対する関心を高め、結核予防活動の具体的な進め方や当面する結核に関する諸問題を検討してきた。

昭和25(1950)年の結核死亡者数は約12万人。平成30(2018)年は約2千人(厚生労働省平成30年結核登録者情報調査年報集計結果より)で確実に減少傾向にある。女性団体の継続的な活動に加え、医学の進歩、衛生的な生活、栄養豊富な食事等様々な要因が総合的に作用しての結果と言える。

WHO(世界保健機関)は2030年までに世界から結核を根絶することを目指に掲げている。ここまで結核犠牲者を減らせたのなら、根絶まではあとわずか。世界に先駆けて日本が結核根絶を宣言できるよう、会員の皆様には継続的な活動をお願いしたい。



沖縄県結核予防婦人連絡協議会が沖縄県知事表敬訪問を実施  
令和3年10月27日

## 令和3年度 全地婦連中国ブロック会議 開催報告

### 【趣旨】

暮らしを取り巻く情勢は日々刻々と変化し、特に昨年度からは新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、地域の絆の希薄化や経済の低迷等、私達の活動や日常生活にも様々な影響を与えています。これまで、私達は確かな信頼に基づくネットワークをいかして、誰もが生き生きと暮らせる平和で安全・安心な地域社会の創造に、主体的、具体的に取り組んでまいりました。

今後は、より関係組織と活動を継続していくための知恵と工夫が求められます。

そこで、中国5県の地域女性(婦人)団体が一堂に会し、確かな暮らしの安全網と心温まる元気な地域社会の実現に向けて、これから地域女性(婦人)団体のあり方にかかる諸課題を研究協議し、更なる活動に向けて本ブロック会議を開催します。



講師 青森大学名誉教授  
エッセイスト/ジャーナリスト  
見城 美枝子 氏

期日:令和3年10月7日(木)

会場:ピュアリティまきび

参加者:中国ブロック各県婦人団体  
(鳥取・島根・山口・広島・岡山)



▲講和「特別詐欺の手口とは!」  
岡山県警察本部犯罪抑止対策室  
課長補佐 山本直希 氏



▲全地婦連櫻井よう子会長によるミニ講和



▲歓迎のことば  
岡山県婦人協議会  
会長 大西 泰子



▲来賓祝辞  
岡山県知事  
伊原木 隆太 氏



▲来賓祝辞  
岡山県議会議長  
神宝 謙一 氏



▲来賓祝辞  
岡山県教育委員会  
教育長 鍵本 芳明 氏



▲次期開催県挨拶  
鳥取県連合婦人会  
会長 奥本 篤子

▼令和2年9月開館の富山県北方領土史料室。パネルや映像、クイズ、資料などで分かりやすく富山県と北方領土を紹介。



▲新田八朗富山県知事、令和2年2月北方領土返還要求全国大会で意見発表した佐原真知子さんと山田淳子氏写真展で。



こうした方々の往時の生活を偲ぶ数多くの史料展示や次世代への啓発をコンセプトに、令和2年9月29日に史料室がオープンしました。自治体レベルの当該施設は北海道以外では初めてです。開設以来6、270人、12団体が訪問。富山県婦人会も昨年12月に引き続き訪れ、元島民の方々との交流を図るなど、復帰運動を根気強く続けていくことへの思いを新たにいたしました。

富山県は、北方領土からの引揚者が1,425人と北海道に次いで多く、黒部市は835人を占めます。富山県と北海道は、江戸時代にはすでに北前船による交易で交流があり、明治の終わり頃には、漁業不振や高波、火災などの被害から新しい漁場を求めて、根室や羅臼などに大勢が出稼ぎに行き、歯舞群島や色丹島に渡った人もありました。厳しい自然条件の中で越中人の粘り強さ、県民性で、昆布漁や漁場開拓に従事したといわれています。こうした方々の往時の生活を偲ぶ数多くの史料展示や次世代への啓発をコンセプトに、令和2年9月29日に史料室がオープンしました。自治体レベルの当該施設は北海道以外では初めてです。開設以来6、270人、12団体が訪問。富山県婦人会も昨年12月に引き続き訪れ、元島民の方々との交流を図るなど、復帰運動を根気強く続けていくことへの思いを新たにいたしました。

**富山県北方領土史料室開設1周年によせて**

富山県婦人会会長 岩田 繁子

令和3年9月23日、富山県黒部市で富山県北方領土史料室開設1周年記念セレモニーが開かれました。北方領土返還要求運動富山県議会議長の五十嵐務県議会議長が式辞、新田八朗富山県知事、資料室長の大野久芳黒部市長、参議院議員鈴木宗男氏が祝辞を述べました。関係者等約70人が出席。式典のうち、元島民三世の写真家山田淳子氏が、「島々の記憶」「私の血が記憶を継ぐ意味について」と題して講演し、返還運動への取り組みの大切さを訴えました。同時に山田さんの写真作品32点の展示も行われました。

富山県は、北方領土からの引揚者が1,425人と北海道に次いで多く、黒部市は835人を占めます。富山県と北海道は、江戸時代にはすでに北前船による交易で交流があり、明治の終わり頃には、漁業不振や高波、火災などの被害から新しい漁場を求めて、根室や羅臼などに大勢が出稼ぎに行き、歯舞群島や色丹島に渡った人もありました。厳しい自然条件の中で越中人の粘り強さ、県民性で、昆布漁や漁場開拓に従事したといわれています。

こうした方々の往時の生活を偲ぶ数多くの史料展示や次世代への啓発をコンセプトに、令和2年9月29日に史料室がオープンしました。自治体レベルの当該施設は北海道以外では初めてです。開設以来6、270人、12団体が訪問。富山県婦人会も昨年12月に引き続き訪れ、元島民の方々との交流を図るなど、復帰運動を根気強く続けていくことへの思いを新たにいたしました。

第10回

# 写真で見る“女性たちの今”

全国の女性会  
活動風景

## ～地域のこどもは地域で～を愛ことばに

兵庫県連合婦人会  
会長 友藤 富士子

子育て支援事業の一つとして、三世代交流事業に取り組んでいます。祖父母・親子の三世代が参加できるよう料理教室・作法教室・スポーツ教室等工夫し、活動しています。

こどもたちからは楽しい思い出ができた、また参加したい、親世代からは、家族間・地域間の絆が深まったなど好評を得ています。地域の皆さんと共にふれあい、交流を大切に安全安心な地域づくりに貢献できたらと思います。



▲作法教室

茶道の作法を1から学べる教室を開催。初めて手本を学び、大人が見本を見せてから、子どもたちも茶をたてる。コロナ禍での開催のため、和室はでは実施せず。

### ▼ふれあいスポーツ教室

三世代で楽しめるニュースポーツを通して交流を深めた。(囲碁・ボーラー・クロリティー(輪投げ)・ビンゴゲーム)



兵庫

県の花  
ノジギク

### ▼ふれあい料理教室

家族ごとに手巻き寿司作り教室を開催。合わせ酢作りから取り組むことで、家庭での手巻き寿司作りへのハードルが下がったと好評。



## 私のとっておき教えます①

茨城県

## 八千代町の白菜キムチ

茨城県は白菜の生産量が全国第1位の大産地です。中でも茨城県の南西に位置する八千代町は、県内の白菜の産地です。私たち八千代町女性会は、地元農産物を使った特産品を開発するため5年前からキムチ作りに取り組んでいます。毎年白菜の収穫が始まる10月から翌年の3月まで約半年間、試行錯誤を繰り返し、美味しいキムチを追求し続けてきました。

保存料を一切使わない、果物の甘味と辛味のバランス良いキムチです。ほかほかご飯のお供はもちろん、これからの季節は鍋にぴったり。体の中から温まります。乳酸発酵食品なのでチーズなどとも相性抜群です。ぜひ全国の皆様、ご賞味ください。



### お申込み・お問い合わせ

八千代町生涯学習課 Tel.0296-48-0888

一袋400g 500円(税込)(クール便でお届け) 八千代町女性会  
送料はご負担いただきます。お支払いは代引きとなります。

お知らせ

全国地域婦人団体連絡協議会

## 創立70周年記念式典参加申し込みが始まります!

かねてよりご案内しております全国地域婦人団体連絡協議会創立70周年記念式典が2022年4月26日(火)にLINE CUBE SHIBUYA渋谷公会堂(東京都)で開催されます。つきましては各都道府県にお申込み用紙と共にご案内を11月中にお送りいたします。盛りだくさんの企画をご用意し、実行委員も準備を重ねています。より多くの皆様にご参加いただけますよう、お声掛けをよろしくお願ひいたします。70周年という記念すべき瞬間を、共に学び、共に楽しみ、共に祝いましょう。



\*混雑状況によっては、御希望の日程でお席をご用意出来ない場合もございますので予めご了承ください。

昼開演時18日(金)～3月13日(日)  
夜の部11時／夜の部16時(予定)

定価料金(税込)S席(1階席・2階席)13,000円  
会員様 特別価格(税込) S席11,700円



原作：長谷川町子  
2022年  
1月29日(土)～2月13日(日)  
昼の部11時／夜の部16時(予定)

定価料金(税込)S席(1階席・2階席)12,500円  
会員様 特別価格(税込) S席11,250円



2022年1月6日(木)～24日(月)  
開演時間  
昼の部11時／夜の部16時

定価料金(税込)S席(1階席・2階席)13,000円  
会員様 特別価格(税込) S席11,700円

明治座  
〒103-0007  
東京都中央区日本橋浜町2-31-1  
受付時間 平日9:00～17:00

【フリーダイヤル】  
0120-64-3800

「梅沢富美男特別公演 泉ピン子特別出演」  
第一部 富美男とピン子の泣いて笑って霧の雨  
第二部 梅沢富美男歌謡オステージ  
第三部 華の舞踊絵巻

定価料金(税込)S席(1階席・2階席)13,000円  
会員様 特別価格(税込) S席11,700円



沖縄県

めんそーれ沖縄へ  
(いらっしゃいませ)

▲近い未来、全国大会が開催されることを願い10月22日に「婦人の主張中央大会」を開催しました。



▲沖縄の歴史・文化を象徴する首里城は、残念ながら2019年の火災で建物8棟が焼損しました。現在、復旧・復興へと県民をあげて取り組んでいます。全国の皆様から寄付金もお寄せいただいており、本当にありがとうございます。



▲美ら海水族館では、神秘に満ちた沖縄の生き物たちの雄大な世界が広がります(写真左)。琉球舞踊は琉球王国時代から伝わる格式ある舞踊で、平成22年9月に国の重要無形文化財に指定された日本を代表する芸能です(写真右)。

**セルフ指圧ができる浪越指圧まくら**

nishikawa



▲東京オリンピックで初めて行われた空手において、仮想の敵を想定した攻防を演じる「型」で金メダルを獲得した喜友名諒氏は、日本中に大きな感動と喜びをもたらしてくれました。

安心を見守る、  
警報器の設置・  
交換を  
古くなつた  
ガス機器は  
安全型に  
交換!  
ガス機器とガス栓は、  
正しく接続!

ガス機器の  
使用中は  
必ず換気!  
(給気と排気)  
安心の4つのポイント

大人も子どもも楽しく学んで、  
“スゴロク”をGET!  
「ガスと暮らしの安心」運動  
サイトはコチラ

https://gastokurashi.com  
(開設期間:2021年9月1日~11月30日)

ガスマート!  
一般社団法人日本ガス協会  
https://www.gas.or.jp/

CO 警報器

ガス漏れは見えぬからこそ  
しっかりと見守ります!

ガス警報器 工業会 検索

警報器の交換期限は5年です。  
ガス警報器工業会 検索

**STOP! コンロ火災**

あなたも経験者?  
**ヒヤリ経験要注意!!**

天ぷら油火災など、ガスコンロ火災の多くが、使用者の不注意によるもの。ヒヤリは危険信号。古いガスコンロをご使用の方は、安全機能の高まったSiセンサーコンロへの「安心替え」がオススメ!

ヒヤリ事例集配布中

ガスコンロ ヒヤリ 検索

https://www.jgka.or.jp/

一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

LPGガスのこと、なんでもご相談ください!

全国LPGガスお客様相談所

03-3593-1100

【ご相談専用】受付時間 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日除く)

一般社団法人全国LPGガス協会  
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-6 共栄火災ビル7階

HABOMAI 北海道・函館

全国地域婦人団体連絡協議会公認昆布

歯舞早煮昆布

皆さまが支えています

歯舞早煮昆布は、全地領還が北方領土返還運動の一環として、北方領土で採れた貝殻島産樽前昆布を歯舞漁協で袋詰めしたものを全地婦連公認昆布として取扱っております。

歯舞早煮昆布の愛用 地域婦人会の活動資金源

歯舞漁業協同組合

STOP 地球温暖化

総合整備